

熱 中 症 対 策

熱中症予防対策を行う際に気を付けるポイントとして、まずは作業者同士でのお互いの健康をよく確認することです。異変を感じたら、ためらうことなく作業を中断し、応急処置または救急車を呼び、山は遠いので近くまで降りていくことをおすすめします。

救急車が来るまでに救命率をあげるために行うこと

- ① 衣服をゆるめ、横にして足をあげる
- ② 水分・塩分、経口補水液などを飲ませる
- ③ 水を吹きかけ、風を送る



涼しい場所へ移動させ、衣服をゆるめて横に寝かせて足をあげる
→ 脳に血流を行かせる



水分・塩分、経口補水液(水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの)などを飲ませる(意識がないときは無理に飲ませない)
→ 血中の塩分濃度が薄まりバランスが崩れているため



水を吹きかけ、風を送る(スプレーの使用、あおいでもよい)
→ 身体から放熱させる

○準備品

- ☆冷却アイスノン
- ☆経口補水液
- ☆タオル
- ☆お水
- ☆塩分飴

○服装・装備

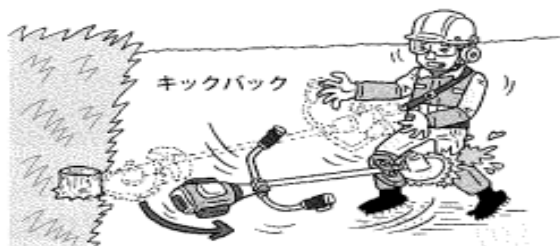
- ☆通気性のよい作業着
- ☆空調服の利用
- ☆冷却タオル
- ☆場に応じたマスク着用

衛生教育の実施

- 熱中症の症状
- 熱中症の予防方法
- 自覚症状に関わらず、水分・塩分の摂取
- 日常の健康管理
- 緊急時の応急処置及び連絡方法

下 刈 り 作 業 の 注 意 点

刈払いにおける死亡災害は、過去20年間(2003年~2022年)で32件発生しています。労働災害防止対策への協力もあり、この10年間で3分の1に減少しています。災害の起因別にみると、①刈刃の接触(9件) ②蜂刺され(7件) ③転倒(4件) ④熱中症(2件)等となっています。「現場で安全を脅かす物は何か」の原点に立ち返り、「危険をよみ、災害の芽を摘む」ことが労働災害の防止対策となります。



依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

前向きになれる一言

ネガティブなことを言わない
ネガティブなことを考えない
ネガティブな人を避ける

虫除けオススメ!
ワークマンの
「エアロガード」

